

地域で共に生きる障害児・障害者アート展 2024

表現の可能性と多様性の魅力

いにしえから学び 未来へつなぐ

■ 港区第13回障害者アート展開催について

2024年1月19日から2月14日まで、今回で13回目となる「地域で共に生きる障害児・障害者アート展」が、「表現の可能性と多様性の魅力～いにしえから学び 未来へつなぐ～」とのサブタイトルにて、港区立郷土歴史館を会場に開催され、多くのご来場者に観覧していただくことができました。

当館は、港区の自然・歴史・文化を深く知り、交流する拠点として、2018年に開館いたしました。建物は、東京大学安田講堂などで知られる内田祥三が設計し、1938年に建設された「旧公衆衛生院」を保存・改修し活用しています。

このたび、港区内の障害者施設等で制作された個性あふれる出品作の数々と、会場となった85年超の年月を経た歴史的建造物とのコラボレーションが、ご来場者に新たな発見や大きな感動をもたらせたのであれば、「いにしえから学び 未来へつなぐ」にふさわしい展覧会になったのではないかと思います。

当館では今後も、港区の施設として、港区のさまざまな魅力を感じていただけるように努めてまいります。

港区立郷土歴史館



■ あとがき

港区立郷土歴史館ギャラリーに、アート展期間中毎日通いました。この素晴らしい歴史的建造物の中は、光も美しく、日々何かしらの発見がありました。85年前の方々はここで何を研究し、どんな事を考えて過ごしておられたのかと想像するだけで、うっかり時空の隙間に紛れ混んだような不思議な感覚になります。そしてまた、風格のあるこのギャラリーに作品を展示すると、背景も美しく、一段と作品が映えて見えます。建物を見学するために訪れた方から、毎年アート展を楽しみに見える方まで、多くの方々にご来場いただき、色々なメッセージもいただきました。各事業所の方から直接感想を伺えた事、制作者同志の意見交換や来年のアイデアの話をしている様子も拝見できた事が嬉しい収穫だったと思います。

次回のアート展も魅力的な作品を楽しみにお待ちしております。

港区立郷土歴史館の皆様、大変お世話になりました。お陰様で安心してご来場者の皆様をお迎えする事ができました。また、多くのスタッフの皆様にご覧いただき、お声をかけていただきました事、心から感謝いたします。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 虹色の風

主催：港区 監修：特定非営利活動法人 虹色の風

港区保健福祉支援部障害者福祉課障害者福祉係



MINATO CITY LOCAL HISTORY MUSEUM 港区立郷土歴史館

4階ギャラリーほか

〒108-0071 港区白金台4-6-2 ゆかしの社内

電話 03-6450-2107 FAX:03-6450-2137

「個性豊かな皆んなの織」工房ラビール

2024.1/19(金) - 2/14(水)
9:00-17:00 ※土曜日のみ 9:00-17:00
※会期中無休



港区は持続可能な開発目標(SDG)を支援しています。



表現の可能性と多様性の魅力

いにしえから学び 未来へつなぐ

開催概要

- 港区立郷土歴史館
4階ギャラリーほか
- 2024.1/19 (金) - 2/14 (水)
- 出展事業：1事業
- 出展事業所：16事業所
- 作品数：43作品
- 延べ来場者数：835人

監修者コメント

今回のアート展は、1事業16事業所の参加でした。それぞれの事業所の「今年はこんな作品にしてみよう」という意欲が、年を追うごとに高まってきているようで本当に嬉しく思います。

そしてまた、事業所の皆さんが会場に足を運び、自分たちの作品がどのように展示されているのかを確認したり、他の事業所がどんな作品を出展しているのかに興味深く、楽しげに観賞されている様子を拝見する度に、このアート展は継続されなければいけないと強く思います。

来年もまた個性的で楽しい作品をよろしくお願いたします。



左から「東京タワーと辰年の絵」風の子会高浜生活実習所 「すてっぶわんの56びきのカメレオン」すてっぶわん 「パラパラあつめアート」西麻布作業所



「乱れ咲く花とハチワレ猫」みなと工房
「ひまわり」みなと工房
「りんご」みなと工房
「バラ」みなと工房
「ねこ」みなと工房



左から「春の風景…そして秋へ」新橋はつらつ太陽
「みんなの木」ハッピーテラス芝浦教室



左から「パインアップル」港区重度障害児日中一時支援事業
「パブリカ」港区重度障害児日中一時支援事業
「墨象・墨を楽しむ」港区重度障害児日中一時支援事業



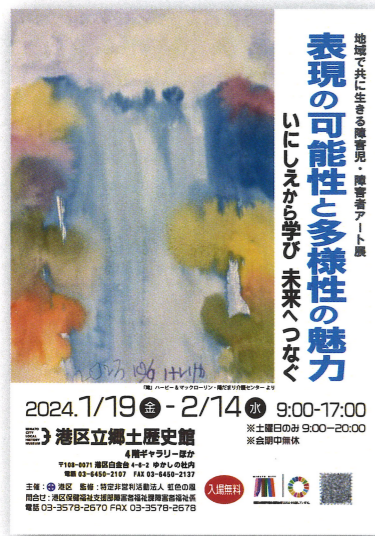
左「明るい未来へ～夢に向かってGO!～」アフタースクールクローバーキッズ麻布十番
右 共同作品「WAになって創ろう」港区立精神障害者支援センターあいはーと・みなと



「港区障害者週間ポスター」港区障害者福祉課



左から「滝」ハービー&マックローリン・陽だまり介護センター
「夏のくらげ」ハービー&マックローリン・陽だまり介護センター
「輝くイカ」ハービー&マックローリン・陽だまり介護センター
「かたつむり」ハービー&マックローリン・陽だまり介護センター



「古代メキシコ文明」みなと障がい者福祉事業団
「旅立ちの時」みなと障がい者福祉事業団
一字創作「水」みなと障がい者福祉事業団



「花冠」アブローズ南青山
「花ちゃん」アブローズ南青山



左から「星空散歩」たいらか 「春の花」たいらか
「熱帯の夕日～アンリ・ルソーに想いを寄せて～」たいらか



以前であれば、障害がある人の絵を皆んなで観賞する事などほとんど無かったでしょう。でも今、目の前には皆さんの作品が毅然と並んでいます。

条件や環境に左右される事なく自分を表現する事は大切で、無限の可能性を秘めています。多様な人々が共存し、共感する事は未来を豊かにする希望ではないでしょうか？

85年の歴史に新しいページが開かれた事、何か特別な時間が流れた事をととても大切に感じます。



「青空と雲」工房アミ
「夢の旅」工房アミ



「金の中の形」工房アミ
「金の中の形」工房アミ
「みんなちがって、みんないい」港区立児童発達支援センターばお



左から「RcNo.1」虹色の風 「野原」虹色の風 「スパイラル2018」虹色の風
「ミッドナイトオペラから機動鉄人ファイナルグレート9」虹色の風



左から「Blue&Yellow1」虹色の風 「フラワームーン」虹色の風 「たまねぎ」虹色の風
「ぐるぐる(ピンク&ブルー)」虹色の風 「花」虹色の風